

## 1. 主な仕様について

- (1) 期間：令和7年9月22日～12月21日（3か月間）  
時間：毎日午前7時30分～午後8時30分
- (2) 場所：N-バス東部線沿線エリア
- (3) 停留所（乗降ポイント）：46箇所 ※昼間限定特別停留所：5箇所
- (4) 運賃：1乗車200円/人 ※昼間限定特別停留所との移動400円/人
- (5) 利用方法：事前登録（電話の場合は不要）→利用予約（電話又はWEB）
- (6) その他：車両1台、市役所で電話予約受付を対応



## 2. 手続の経過について

愛知運輸支局の手続完了（運行事業者：あんしんネットあいち） 令和7年9月3日

## 3. 周知・説明の経過について

- (1) 市広報（9月号）
- (2) 対象地域の全世帯へのチラシ、停留所マップ、お試し乗車券などを配布
- (3) 市HPでの周知
- (4) 自治会への説明（社会福祉協議会との連携実施）《8箇所・延べ約80人の参加》
- (5) ポスター掲示（リニモの各駅、公共施設）、すぐメールの送信等の実施

#### 4. 利用促進等の取組について

##### (1) 乗継割引の実施

- ・ 利用促進、公共交通の乗継促進、乗継状況の確認のため
- ・ デマンド型交通利用時に他の公共交通機関との乗継がある場合に乗継票記入でデマンド型交通利用料金100円の割引を行っています。

##### (2) 昼間限定特別停留所の設置

- ・ 東部地域の生活を支えるという観点で、デマンド型交通サービスエリア外の愛知医大、図書館通り周辺に乗り入れた場合の利用動向を確認するため、また車両の有効活用の観点や、昼間時間帯（午前10時～午後4時）の利用促進を踏まえ、同時時間帯に限定してエリア外（西部地域）への乗り入れを実験的に実施しています。
- ・ 停留所は、愛知医大、戸田谷公園、久保山集会所、アピタ長久手店、長湫中部6号公園の5箇所に設置しています。

#### 5. 利用状況について（令和7年11月30日時点の速報版）

(1) 利用件数 219件

(2) 利用状況 次頁以降のとおり

#### 6. 運行経費について

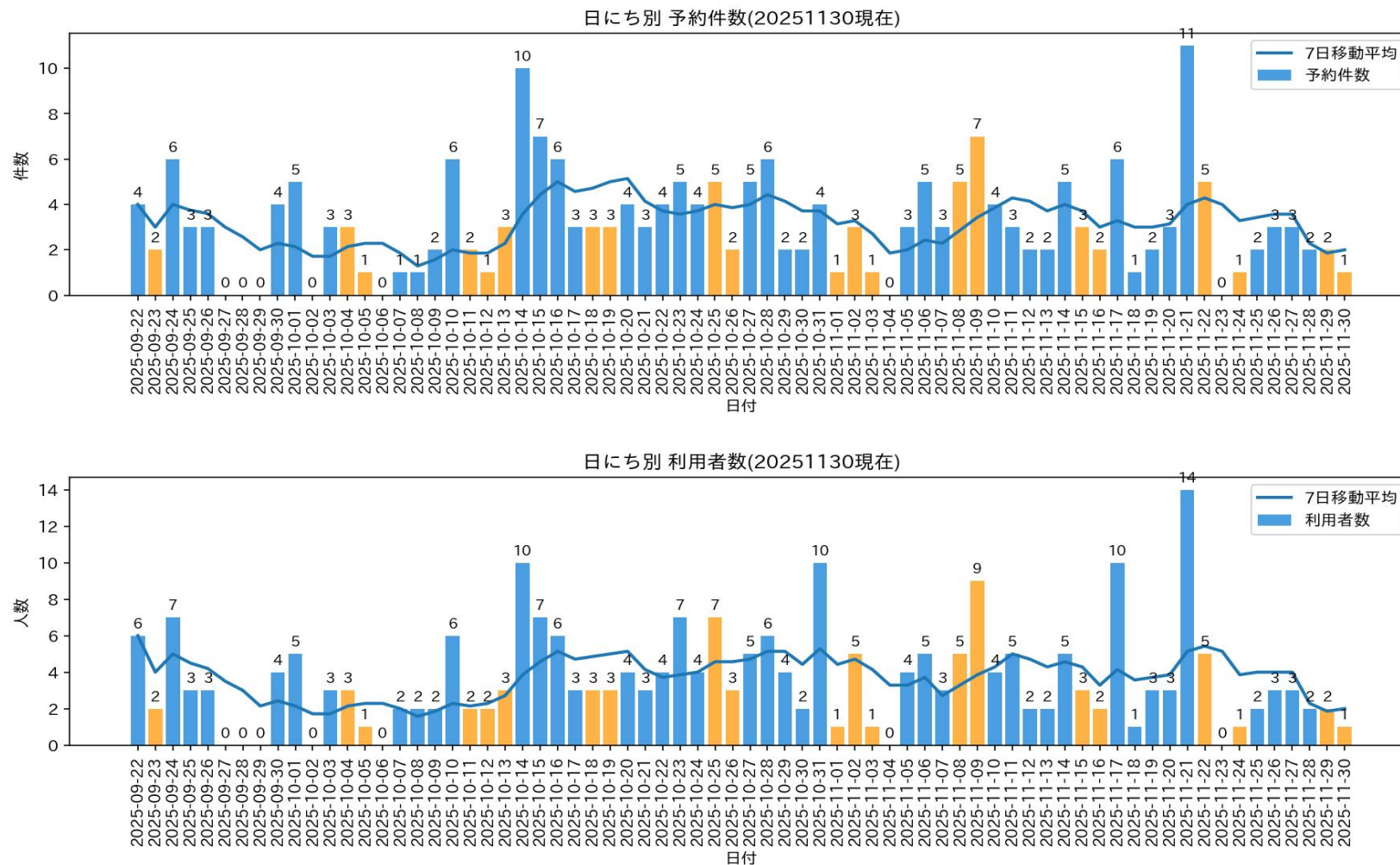
委託費 7,464,424円

※最終的には運賃収入を差引いたものが市の負担額となります。

## 11月30日時点の利用状況（速報版）

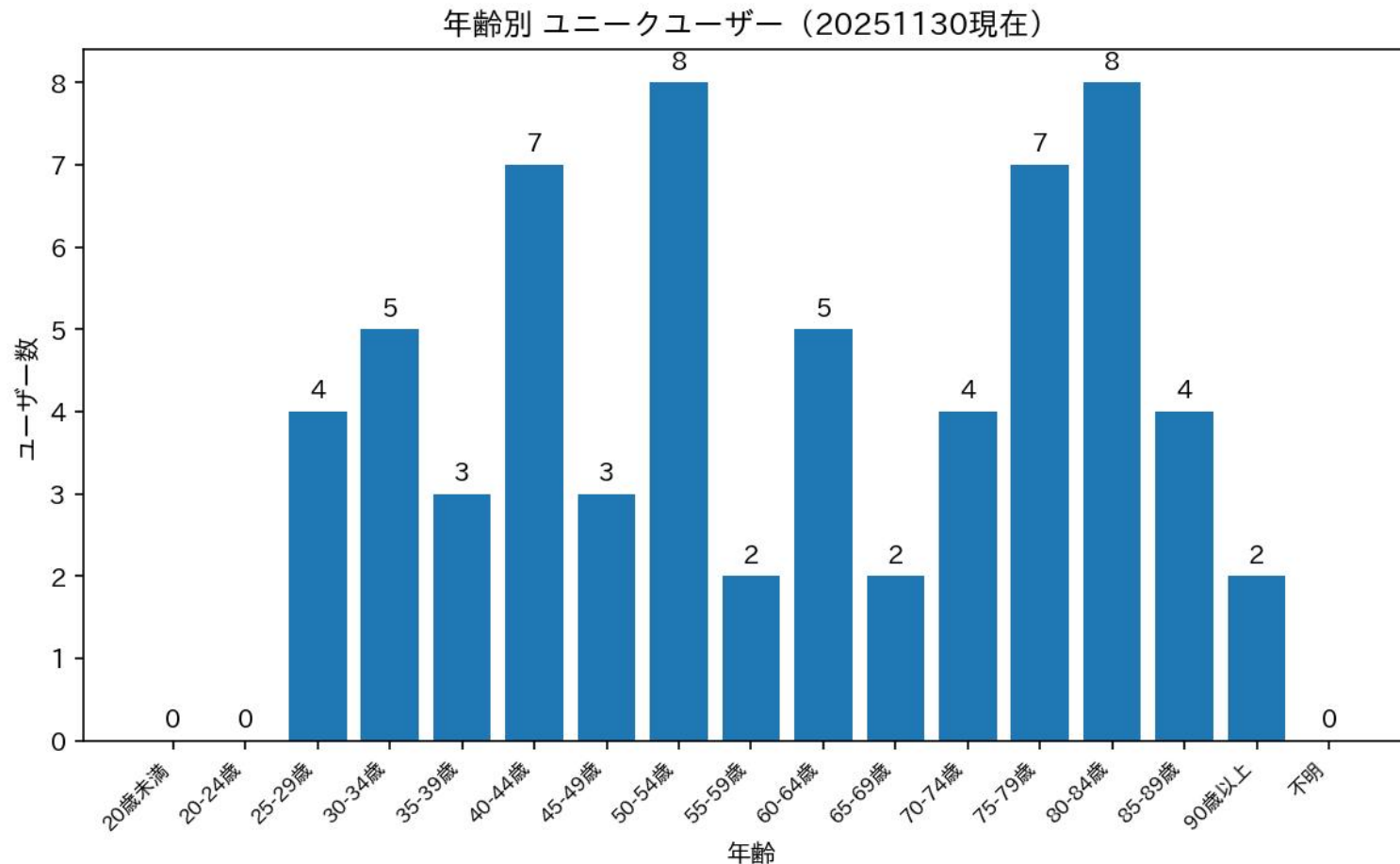
- (1) 予約件数  
219件  
うちweb 149件  
電話 70件
- (2) 利用者数  
のべ258人
- (3) お試し乗車券  
利用数：63件
- (4) 乗り継ぎ割引  
利用数：81件
- (5) 乗り合い件数  
16件（8回）

## 日別の予約件数と利用人数の推移



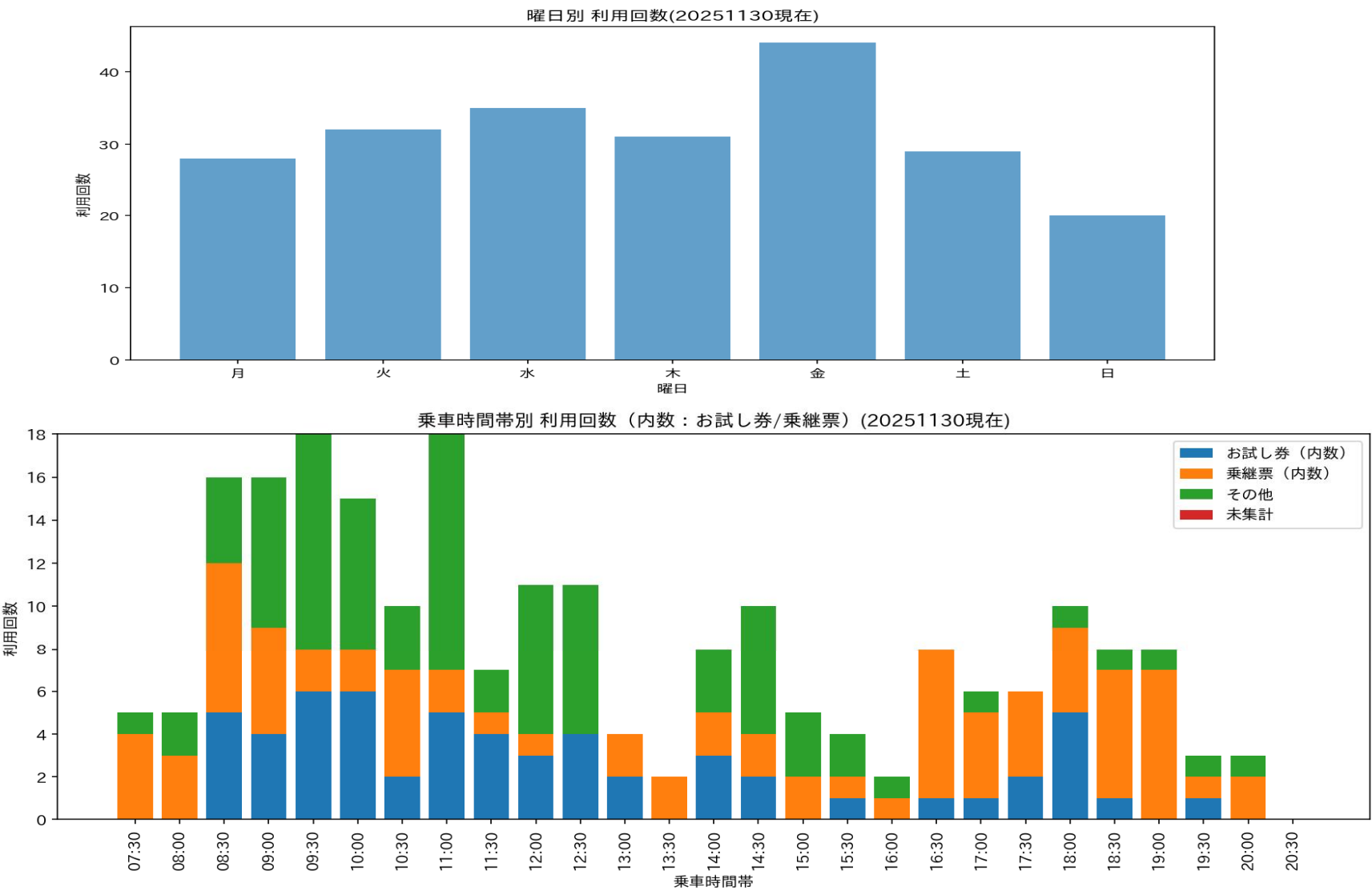
## ユニークユーザー※（合計64人）の年齢別内訳

※ 1回以上予約を実行した登録利用者



- ・ 幅広い年齢層の利用がある
- ・ 20歳台などの若年層への広報により更なる利用促進につながる可能性がある

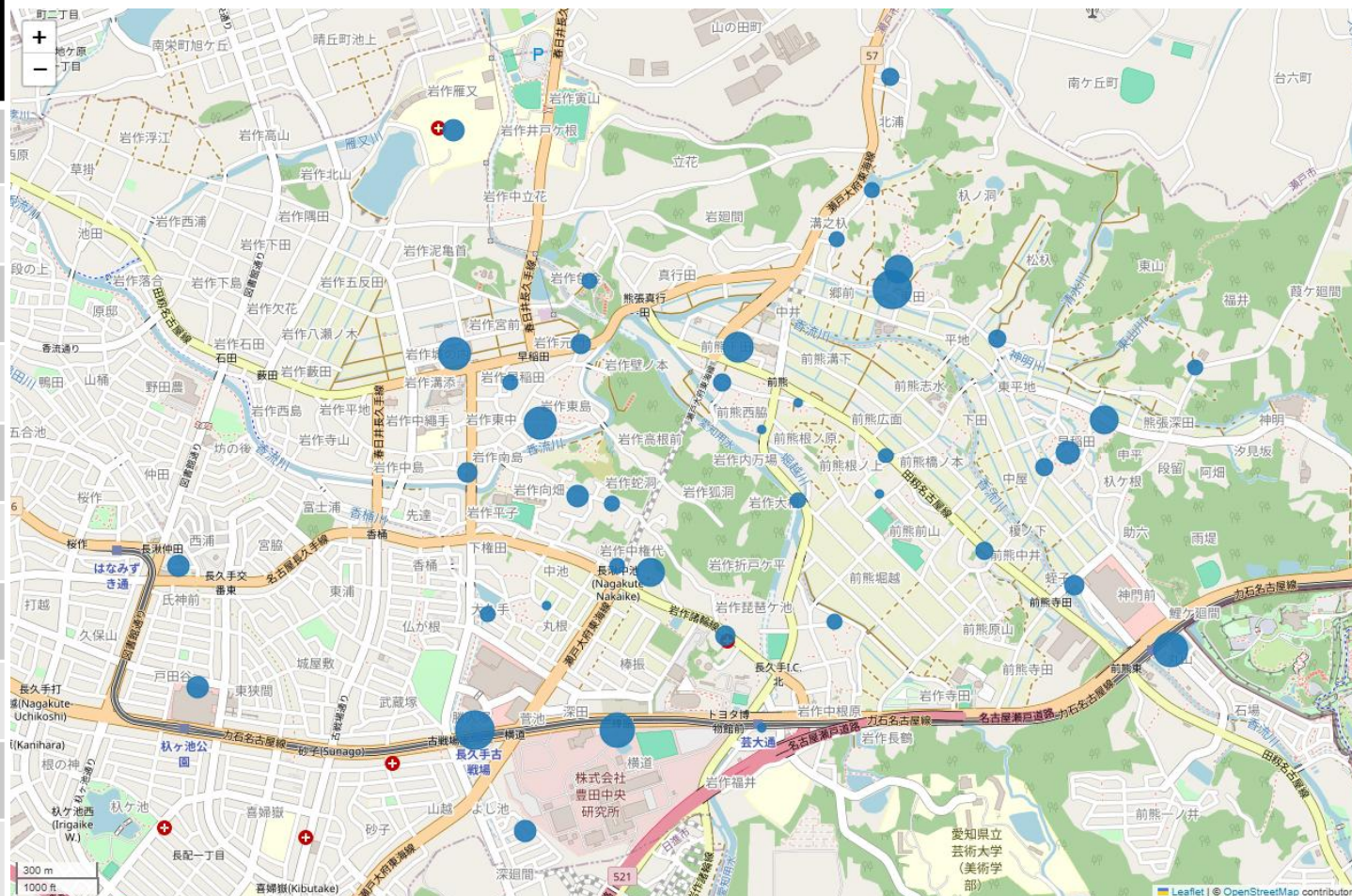
曜日別（上段）、時間帯別（下段）の予約件数





## 乗車が多かった乗降場所

停留所名	利用回数
長久手古戦場駅	24
大草中集会所	23
公園西駅	19
棒振交差点南	19
色金老人憩いの家	16
長久手市役所	14
福祉の家	13
老人憩いの家永和荘	11
宗延寺北	10
市民テニスコート	9

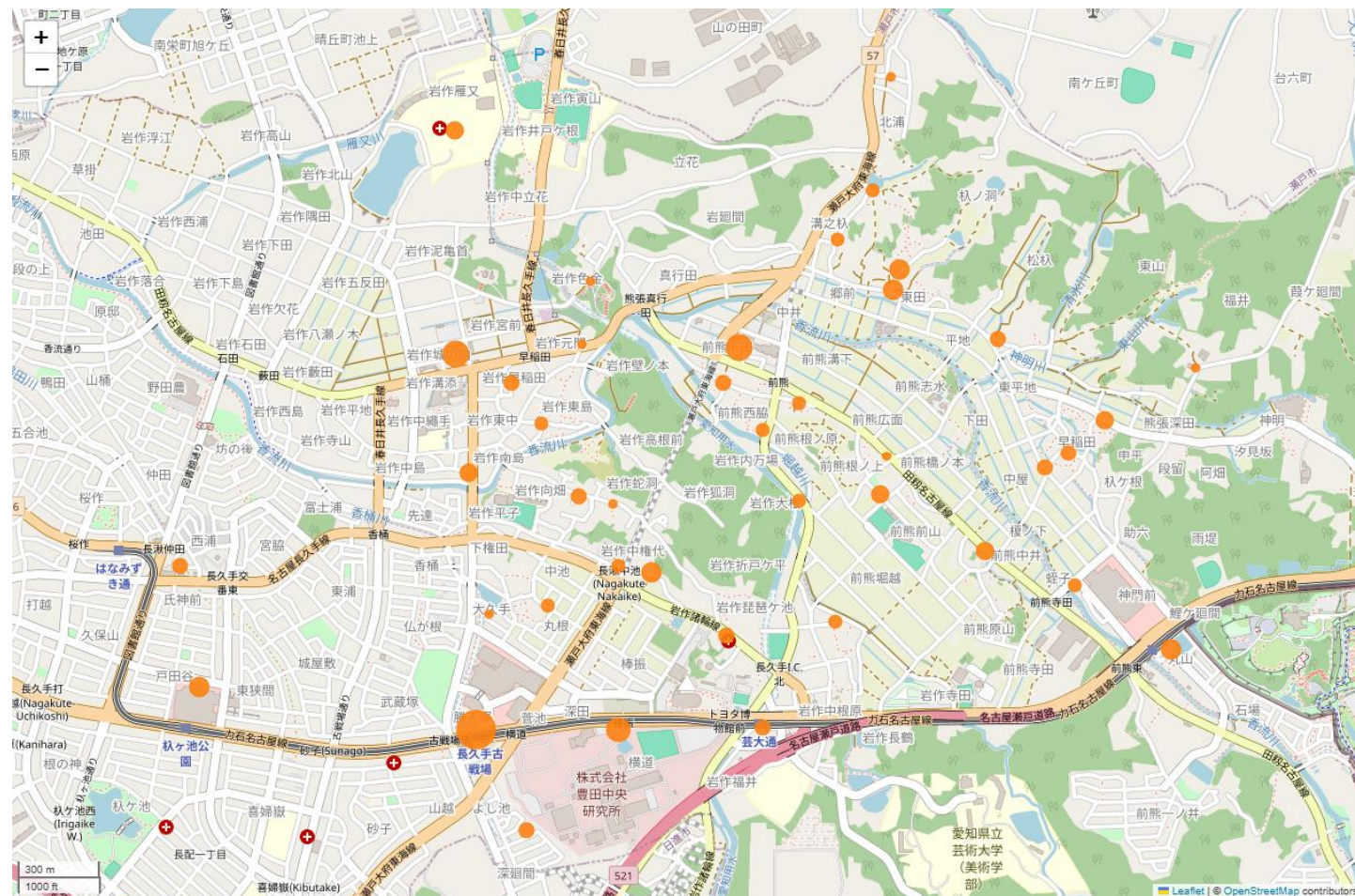


・ 東部エリアからの乗車が多い



## 降車が多かった乗降場所

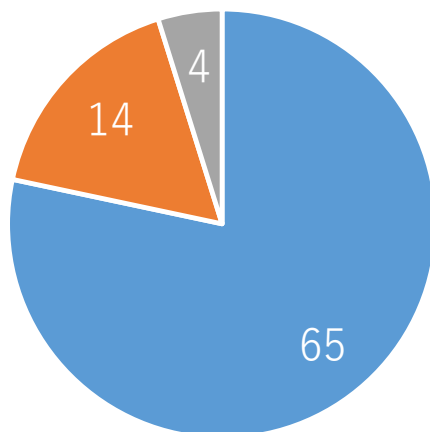
停留所名	利用回数
長久手古戦場駅	62
長久手市役所	21
福祉の家	20
棒振交差点南	17
老人憩いの家永和荘	9
市民テニスコート	9
大草中集会所	8
アピタ長久手店	7
公園西駅	7
宗延寺北	6
愛知医大	6



## 乗継割引者の利用状況（速報版）

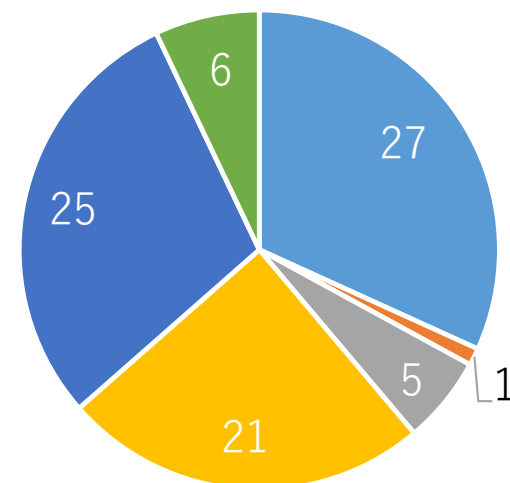
乗継割引を利用した予約：83件（予約総数219件の38%）

乗り継ぎ元/先の交通機関



■ 1. リニモ ■ 2. 名鉄バス ■ 3. Nーバス

利用目的



■ 1. 通勤 ■ 2. 通学 ■ 3. 通院  
■ 4. 買い物 ■ 5. 趣味娯楽 ■ 6. その他

- ・ リニモだけでなく名鉄バスへの乗り継ぎも多くあり
- ・ 幅広い目的で利用されている



## 7. 昨年度実験との比較、本格運行時の利用見通し（速報）

	R7年度	R6年度	
		東部・共通エリア	三ヶ峯エリア
予約件数	3.1件/日	+41% ← 2.2件/日	0.9件/日
利用者数	3.7人/日	+16% ← 3.2人/日	1.9人/日
乗合件数	16件（8回）	+167% ← 6件（3回）	

- ・ R7はR6より車両数を減らしたが利用件数は増加しており、乗合件数も大幅に増加している。
- ・ より効率的な運行となっている。

- ・ 現在、デマンド型交通運行エリア内にはN-バス（東部線・三ヶ峯線）が運行中  
デマンド型交通運行エリア内のN-バスの利用者数：16人  
（11/7（金）のN-バス乗降調査より）
- ・ N-バスからデマンド型交通への利用転換を考慮すると、  
デマンド型交通本格運行時には乗降調査での 16人/日のうち一定数の利用が見込まれる。

## 8. アンケートの実施について

利用者、対象地域在住の市民（無作為500人）にむけてデマンド型交通や市の公共交通について、アンケートを実施します。

## 9. 今後について

利用状況の詳細やアンケートの結果を確認・分析します。

→ 次回（令和8年3月に開催予定）の地域公共交通会議にて報告を予定しています。